

登録コード	HB494300	開講年度	2026					
授業題目	咬合学特論					担当教員	栗田 浩 他	
英文授業名	Gnatho-Occlusion Science					副担当	酒井 洋徳	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	生命医工学専攻1 2年
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HB4年制加							
	【研究科共通_2024年度以前加付対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力					咬合について説明できる。		
	【専攻】医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					咬合を理解し説明することができるようになる。咬合に関する研究が社会に与える影響を説明することができる。咬合学および理工学の課題、共通点などを理解し、研究計画を立案することができるようになる。		
(2)詳細 /Detailed information	歯科・口腔外科学では、咬合の知識を無くして研究、診断、治療は行えません。歯科口腔外科学で基本となる歯、歯列、咬合学に関して理解を深めることを目的としています。理解を深めた上で、口腔機能再建について知識を深めます。							
(3)授業の概要 /Overview of course	歯科・口腔外科学の基本となる歯、歯列、咬合学に関して学ぶ。理解を深めた上で、口腔機能再建について知識を深める。							
(4)授業計画 /Course plan	1，口腔解剖学（第1回） 2，歯科解剖学（第2回） 3，口腔生理学（第3回） 4，口腔機能学（第4回） 5，歯列と不正咬合（第5回） 6，咬合と顎機能（第6～7回） 7，咬合診断学（第8～9回） 8，顎運動解析（第10～11回） 9，歯科補綴学（第12回） 10，歯科矯正学（第13回） 11，口腔機能再建学（第14～15回）							
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	全ての講義終了後には、レポート等を課して理解度を評価する。 総合評価として、90点以上「秀」、80-89点「優」、70-79点「良」、60-69点「可」59点以下「不可」とする。							
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	試験およびレポートを通して、顎運動および咬合に関して理解していれば「可」とします。							
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	授業は、講義および実習により行います。 各講義および実習の前に、あらかじめ予習により理解した上で参加してください。 積極的な出席を望むが、評価はレポートにより行います。							
(8)質問、相談への対応/Questions and requests for advice	随時受け付けます。 メール（hkurita@shinshu-u.ac.jp）も可です。							
(9)授業の形式 /Course format	授業はオムニバス形式で行います（それぞれの講師、開催時間を連絡します）。							
【教科書 /Textbook(s)】								
【参考書 /Reference work(s)】								